

CMX 10.6以降でのパッチの転送とインストール

内容

[概要](#)

[使用するコンポーネント](#)

[CMXへのファイルの転送](#)

[Windows](#)

[MacOSおよびLinux](#)

[パッチのインストール](#)

[CMX 10.6.3へのルートパッチのインストール](#)

[ハイアベイラビリティの場合](#)

概要

この記事では、CMX 10.6以降でさまざまなパッチを転送してインストールする方法について説明します。特定のバグを修正するには、パッチのインストールが一般的に必要です ([CSCvp92122](#)など) またはルートアクセスを取得するため (通常は高度なTACのトラブルシューティングに必要)、10.6.0以降でFIPS/CC/UCAPL準拠のために削除されました。パッチを入手するには、ケースCisco TACをオープンする必要があります。

使用するコンポーネント

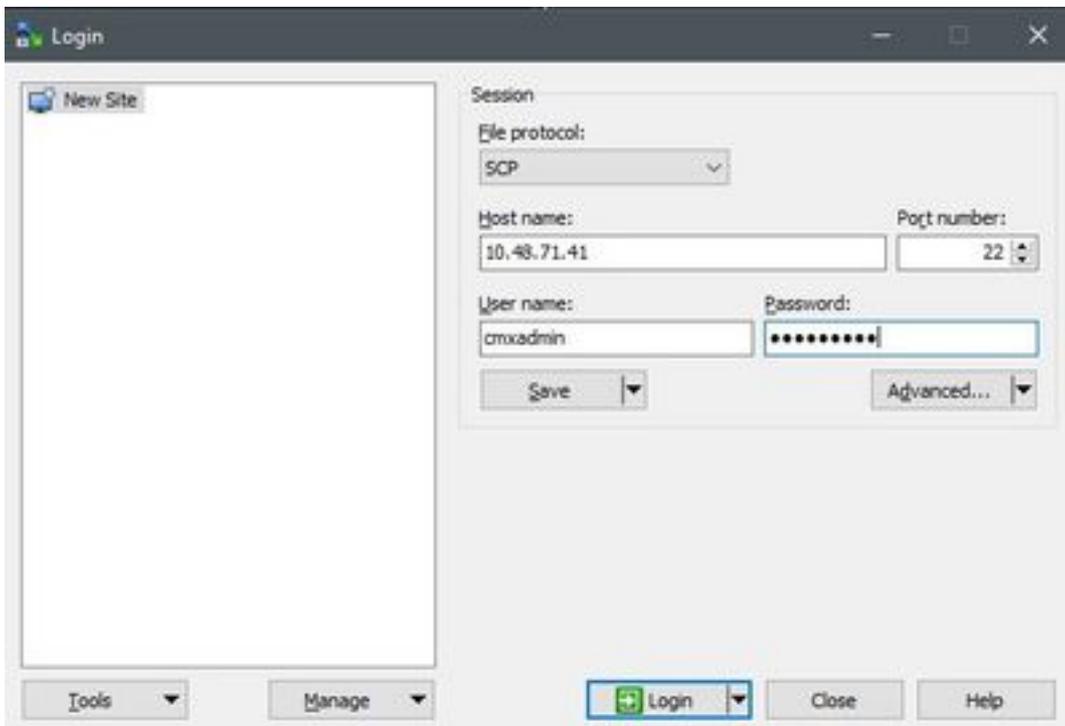
すべてのテストと例は、Cisco 3375アプライアンス、MacOS 10.14およびWindows 10、1903ビルドで実行されているCMX 10.6.1で実行されました。

CMXへのファイルの転送

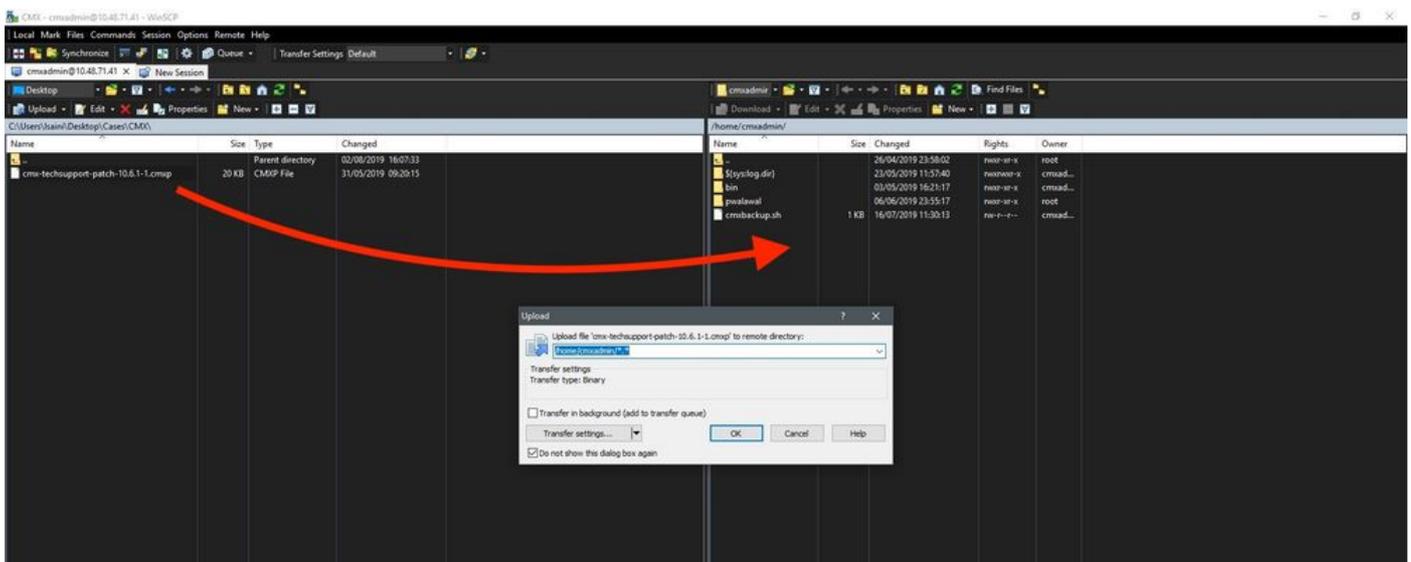
CMXへのファイル転送はSCPを使用して行われます。CMXとファイルの転送元マシンの間でポート22を許可する必要があります。WindowsユーザはGUIベースのツール ([WinSCP](#)など) を使用できます。MacOSおよびほとんどのLinuxディストリビューションはSCPをネイティブにサポートしています。

Windows

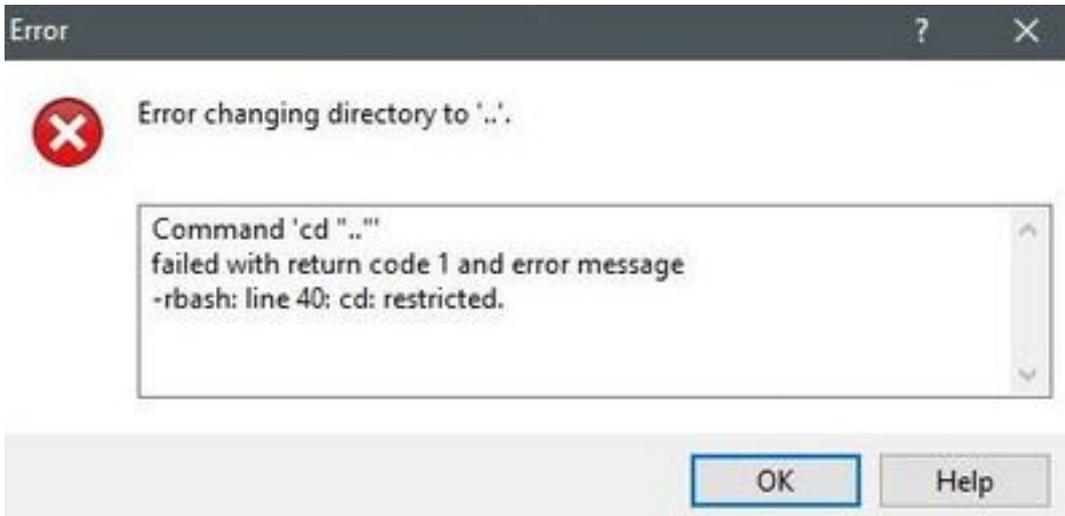
WinSCPを開き、プロトコルをSCPに設定し、CMXのIPアドレスとクレデンシャルを指定します。



ログインしたら、CMXパッチファイルを左側から右側にドラッグアンドドロップします。



注：CMXにSCPを入力すると、cmxadminユーザに対してコマンド「cd」が制限されているため、フォルダを移動することができず、次のエラーがポップアップ表示されます。



MacOSおよびLinux

ターミナルから、次のコマンドを実行します。

```
$ scp <file_path_and_name_on_local_machine> cmxadmin@<cmx_ip_address>:/home/cmxadmin  
例：
```

```
$ scp /Users/vaperovi/cmx-techsupport-patch-10.6.1-1.cmxp cmxadmin@10.48.71.41:/home/cmxadmin  
cmxadmin@10.48.71.41's password:  
cmx-techsupport-patch-10.6.1-1.cmxp                               100%   20KB  
200.3KB/s   00:00
```

パッチのインストール

パッチは、**cmxos patch install**コマンドを使用してインストールされます。

```
[cmxadmin@mse3375 ~]$ cmxos patch install  
Please enter the patch file name: cmx-techsupport-patch-10.6.1-1.cmxp  
  
** Checking patch file integrity  
  
Patch file integrity passed.  
  
** Extract patch file contents.  
Verifying patch signature.  
Verification signature output: Verified OK  
  
Patch file verification successful for /home/cmxadmin/cmx-techsupport-patch-10.6.1-1.cmxp.  
  
** Installing patch RPM: /opt/image/patches/cmx-techsupport-patch-10.6.1-1.x86_64.rpm extracted  
from patch file: /home/cmxadmin/cmx-techsupport-patch-10.6.1-1.cmxp  
  
** Patch installed successfully  
  
** Patch completed successfully.
```

注：ルートパッチはCMXバージョンに固有です。つまり、10.6.0ルートパッチはCMX 10.6.1にインストールできず、その逆も同様です

CMX 10.6.3へのルートパッチのインストール

CMX 10.6.3では、パッチのインストール中に追加の手順を実行する必要があります。「cmxos patch install」コマンドが開始され、10.6.3のルートパッチのファイル名が入力されると、ルートパスワードの入力が求められます。これは、以前のリリースと同様に、バージョン10.6.3ではCMXの初期導入時にユーザにルートパスワードの入力を求めないためです。

ハイアベイラビリティの場合

パッチはインストール先のアプライアンスにのみインストールされ、セカンダリアプライアンスに自動的にロールオーバーされることはありません。レプリケーションの問題を回避するため、両方のアプライアンスに機能パッチ（特定の機能または問題を修正するパッチ）を同時にインストールすることを推奨します。

ルートパッチは、複製に関係のない部分に適用されるため、1つのアプライアンスにのみインストールできます。インストールするパッチがHAの問題を修正していない限り、実際にHAの設定/ペアリングを解除する必要はありません。

注：アップグレード(10.6.1から10.6.2へのアップグレードなど)はパッチとは見なされず、HAを中断する必要があります